

令和5年度 生物多様性ユース会議

あいち生物多様性 よららMEETING

開催結果報告書



WEB <https://www.pref.aichi.jp//soshiki/shizen/youth-kaigi-r5.html>

本報告書は、WEBサイトからもダウンロードできます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

愛知県

開催目的 「あいち生物多様性戦略2030」に基づき、ユース世代を中心とした多様な世代・主体の連携を促進するとともに、生物多様性を切り口にしたSDGsに関する取組を推進すること。

開催日時 2024年2月12日(月・祝) 13:00~16:30 @ウィルあいち セミナールーム1・2

開催概要 愛知県内の生物多様性の問題に取り組む多様なユースの8団体、計20名が集まり、団体の活動紹介や団体の垣根を超えたグループディスカッション等を実施した。グループディスカッションでは「一般の県民が取組に参加できる施策を考えよ!」をミッションに5つのグループに分かれてアイデアを出し合い、それぞれの団体の交流を深めた。また、「あいち生態系ネットワーク協議会」のメンバーにもご参加いただき、様々な視点からアドバイスを頂くことで生物多様性への理解を深めた。

参加したユース団体

命をつなぐPROJECT

愛知県の知多半島が有する生物多様性やそのポテンシャルの向上、生態系ネットワークの形成を目指す活動を行っている。「自然や生き物と心地よい環境を築く。そして、次代へつなげる。」ことを目的に、「豊かな自然環境を守り、生物多様性へ貢献する。」ことを行動の指針として、多様な主体とともに次世代へバトンをつないでいる。



愛知大学 森の子

豊川市・新城市・設楽町・豊橋市・岡崎市にて活動。それぞれの地域ごとに自然観察会や生き物の保全、「奥三河自然観察マップ」をもとにしたYouTubeでの情報発信等を行っている。



エコのつぼみ

環境啓発活動を行う愛知淑徳大学のボランティア団体で主に竹林の整備を行っている。その他にもマルシェにて竹炭の販売等を行い、竹林整備の大切さを伝えている。



GAIA

保全活動と情報発信を中心に生物多様性に関する活動を展開している学生組織。保全活動では生態系ネットワーク協議会等と連携した活動やユース主体での活動を行っている。



環境クラブ 参画と資格

人間環境大学の公認団体。SDGsの達成に貢献することを目的に2020年に創設され、「参画するには知識が支えとなる」という考えのもと、課外活動と資格の取得を目指し、様々な活動に取り組んでいる。



サンパウロ州交流事業 愛知ユースチーム

「ブラジル・サンパウロ州ユースとの友好交流プログラム」に参加した学生で構成。オンラインによる交流会や事例発表等を実施した。



名古屋商科大学 SDGsサークル

蒲郡市の竹島や日進市内のゴミ拾いの企画や募金活動の支援等、積極的な活動を行っている。また、名古屋国際高等学校との繋がりを活かして、八事興正寺公園等の森で伐採活動を行っている。



Na-Gomi

主に長久手市民を対象にごみの分別・減量に向けた啓発活動を行う愛知淑徳大学のボランティア団体。大学周辺でのごみ拾いや清掃活動、子どもが楽しめるイベント等を実施している。



あいち生態系ネットワーク協議会のみなさんやファシリテーターと一緒にグループを作りミッションに取り組んだ。

ミッション

「各テーマにおける、一般の県民が取組に参加できる施策を考えよ!」



施策タイトル

池の中は宇宙!? 生き物探検隊! ~池の中をのぞいてみよう!!~

施策ターゲット

メインターゲット: 環境に興味のない子供(小学生) サブターゲット: 左記子供の家族

実施内容

各団体の現状

「私たち」の後継者をつくる必要がある。
施策の実施にあたって、参加スタッフ・ボランティア(人手、情報発信、教える)の不足が課題。

解決の方向性

環境に対して興味を持たない子どもや、そういった環境にない子どもに参加してもらい、繰り返し参加したくなることや、友達に広げたいと思ってもらえるようアンバサダーに認定。
参加だけでなく、一緒に広報活動も担ってもらう。

- 実施時期=いつでも
- 実施場所=生態系ネットワーク協議会で各地の実施可能な場所をリストアップ

●施策のポイント=

- ・ラーケーションを利用することで、親子で参加しやすくする。
- ・「池干し」の伝統的な管理方法を知ってもらうことで、地域社会とのつながりをつくる。
- ・協議会で場所を選定することで、各エリアを網羅(スタンプラリーのように何度も参加したくなる)。

●施策内容=

- ・ラーケーションの活用を前提に、池の水を抜くなどした「生き物調査」
- ・在来種、外来種の区分を明確化する
- ・成果報告はSNSを通じて、県民や全国に情報発信する
- ・探査会に参加した子供の中からアンバサダーを選出する



想定効果

- ☑ 若い世代に外来種の問題を身近に感じてもらい、対策が文化として根付く(地域の活性化にもつながる)。
- ☑ 子供の参加をキッカケとして、親世代の参加も見込める。

メンバー

環境クラブ 参画と資格
命をつなぐPROJECT
サンパウロ州交流事業 愛知ユースチーム
GAIA
エコのつぼみ
トヨタ車体(株)
おかざき自然体験の森
愛知製鋼(株)
<ファシリテーター>
「SDGsコミュニティ」理事

原崎 祥真
加々美 薫
鈴木 響太
羽賀 悠佑
宮崎 智裕
志水 剛
岡田 康
服部 優樹

清水 君代





施策タイトル

たべもの文化祭 ～みんなで学ぶ食と緑～

施策ターゲット

メインターゲット：生物多様性に興味のない県民 サブターゲット：地域住民

実施内容

施策案	主なターゲット
① 緑や植物 (& 食べ物) やお祭り感溢れる入口	子供や若者
② 地域の農家メシ・漁師メシ	大人
③ 特産品の販売(レア度カード等)	親子
④ クラフトワーク(どんぐりごま等)	子供(高齢者が教える)
⑤ 映え要素(植物のアーチ)	若者
⑥ 著名人のトークショー	全員

【レア度カード(イメージ)】



想定効果

- 身近な環境に気づくことができ、環境に全く興味ない方が、関心を持つきっかけとなる
- 多世代の交流による価値観の共有

メンバー

GAIA
名古屋商科大学SDGsサークル
サンパウロ州交流事業 愛知ユースチーム
命をつなぐPROJECT
(株)加藤建設
住友林業緑化(株)
知多半島生態系ネットワーク協議会
<ファシリテーター>
一般社団法人アスバシ

永井 隼人
伊藤 優吹
中川雅新
深津 知希
久坂 耕
田代 隆一
大東 憲二
小柳 真哉





施策タイトル

大学サークルとのコラボレーション<長期的>

施策ターゲット

メインターゲット：サークルに参加している学生 サブターゲット：その他の学生やゼミ、専門家

実施内容

各団体の現状

現状、保全活動を行うボランティアの高齢化や長期的に携わるのが難しいなど、人手不足が課題。

→現状の小学校の環境教育では、中学・高校に進学すると続かない。

また、人手が限られているため、組織の見直しが難しい。



- 事前学習=里山や湿地の環境調査、長期目標の確認
- 活動体験=1日ごとにゴール設定と振り返り(達成感を醸成)
- その他のお楽しみ+おもしろみ要素=野外コンサート、先生の講義等



想定効果

- ☑知識が深まり、視野が広がる
- ☑大きな組織づくり、人脈の拡大 ➡大人になっても興味を持ってくれる
- ☑達成感から自信醸成!!



メンバー

GAIA
GAIA
命をつなぐPROJECT
おかざき自然体験の森
犬山里山学研究所
名古屋市立大学理学研究科

枝光 駿寿
三宅 悠太
池田 直
田澤 亜紀子
永田 幸枝
横井 敦史

<ファシリテーター>
ビオトープ・ネットワーク中部

長谷川 明子





施策タイトル

未知との遭遇！海中体験ツアー！！

施策ターゲット

メインターゲット：小学生～大学生 サブターゲット：同伴する親世代～お年寄り

実施内容



想定効果

- ワクワクを入口に“海・川を守りたい”という気持ちをもってもらう

メンバー

GAIA
環境クラブ 参画と資格
環境クラブ 参画と資格
Na-Gomi
T・海部野川
西三河生態系ネットワーク協議会
名古屋市立大学
<ファシリテーター>
NPO法人フィットラボ

澤井 優希
國枝 凜
鈴木 優大
滝 眞鈴
石黒 鏡三
武田 穰
熊澤慶伯

松本 イズミ





施策タイトル

高校生の臼井くんが見る未来

施策ターゲット

メインターゲット：都会に住む人 サブターゲット：山間地域の住民

実施内容

各団体の現状

- 人口の減少、後継者不足が課題。→都会に住む人たちが自然(の大切さ)を感じる機会が少ない。
- 地方の良さや都会の良さをミックスし、地域の違いを理解する。
- 都会の人が体験し、地域住民と仲良くなる。
- 人はみな日常の中に「食」がある。食事を通して学びにつなげたら楽しい。



森 ●実施場所=ソニーの森、茶臼山、犬山

間伐した木で作った
「積み木遊び」

シカ、フクロウなどの
「ナイトウォッチング
やハイキング」

ストレス発散に
つながる「間伐」

森の中で行う「勉強会」

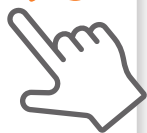
森林やアロマなどによる「起業」

その他、ハンモック、アスレチック、山菜採り、木登り、森の音楽会、
栗拾い、花祭りなどの文化体験

ジビエ等参加者とともに作って食べる「食事」

＼Oshi Point!／

様々なジャンルの
プラン中から
“選択”する



- ・自ら選ぶことの
楽しみを感じる
- ・みんなで行う
ことも可

想定効果

- 都会と地方をつなぎ、新たな産業を生む(森アロマなどの製品づくり等)

メンバー

GAIA
GAIA
エコのつぼみ
サンパウロ州交流事業 愛知ユースチーム
ソニーグローバルマニュファクチャリング(株)
犬山里山学研究所
新城設楽生態系ネットワーク協議会
<ファシリテーター>
愛知淑徳大学 CCC

臼井 大晴
水谷 淑乃
磯村和範
柳原 琢馬
清水 ひかる
平野 恵子
清水 良文

秋田 有加里



イベントでは、パンク町田さんによるモニターも開催されました!

動物研究家・パンク町田さんが考える「動物の文化を活かした生物多様性」

「生物多様性」って何なの?

「生物多様性」という言葉はよく聞きますが、ボクはその意味が年々広がっている気がします。最初は分かりやすかったんですが、今ではもうどこからどこまでが生物多様性なのか、自分でもちょっと分からなくなってきました。

僕の中で生物多様性という言葉は「**いろんな環境があって、その中で生物たちがお互いを磨き合っていくこと**」だと思っているんです。言い換えてみれば**環境が生物を進化させている**とも捉えられますね。

動物も「文化」を持っている!?

重要なのは、私たち人間の文化もこの生物多様性に大きく関わってるってことだと思うんです。

例えば、私たちが作る道や建物が環境を変えるのも、動物たちが持つ文化、例えば特定の群れだけが持つ独自の行動パターンも、これもまた生物多様性の一部。そう、動物にも文化があるんです。

動物たちの文化が失われることがどれほどの損失か、私たち人間はもっと真剣に考えないといけません。

自分が行っている活動について

ボクが子どもに関わる時に大切にしているのは、子どもに動物を好きになってもらうことなんです。

例えば、こういう動物がこういう理由で少なくなっているんだよと説明しても、すぐに行動できる子っていうのはなかなかいないですよ。やっぱり学校の先生と僕みたいな裸のおじさんが言うのでは、言葉の重みが違うのかなとは思いますが。(笑)

だからこそ僕が常日頃考えているのはできるだけアホなことをやって、子どもたちを楽しませて動物好きになってもらいたいということなんです。

子どもが動物好きになれば、「トラってこんなに強いのに、こんなことで数が減っちゃうんだ」とか「ワシもこんなにおっかないのに、森が減ると狩場が無くなって数が減っちゃうのか」なんて気づいてもらえるんですよ。そういう風に**子どもの興味がこれからの未来に繋がっていく**と思うので僕は日夜裸で頑張っています。

「生物多様性」を守ること

私たちがこの地球でやってることの全てが、この地球という大きなシステムの一部だと思っています。

言ってしまうと人間だって自然の一部なんです。

生物多様性っていうのは動物の生態系だけの話じゃなくて、人間の文化や動物の文化、それら全てが繋がったものです。

だからもし**皆さんが何かを変えたいと本気で思うなら、まず自分からアクションを始めてみましょう。**

これからの未来で大切なのは、人間と動物が持つ文化の大切さを理解して守っていくことです。

動物研究家 パンク町田先生

NPO法人生物行動進化研究センター 理事長

アジア動物医療研究センター(日本ペット診療所)センター長

昆虫から爬虫類、鳥類、猛獣といったありとあらゆる生物を扱える動物の専門家であり、動物作家。野生動物の生態を探るため世界中に探索へ行った経験を持ち、3000種以上の飼育技術と治療の習得を生かした執筆はベストセラーを生み出す原動力となっている。

